

井草会報

2014 No.47

発行 井草会
練馬区上石神井2-2-43
東京都立井草高等学校内

「井草の絆」肩寄せ合って大盛況！ 2013同窓会

昨年の8月24日（土）に東京池袋のホテルメトロポリタンにて、「2013同窓会」が盛大に開催されました。当日は、恩師・来賓の方々17名をはじめ、長寿を祝ってご招待した高女4・5回生および高校1・2・3回生が24名、記念学年として古希の高校14・15回生が80名、還暦の高校22・23回生が157名、卒業30年の高校35・36回生が105名と、総勢460名におよぶ参加者が全国各地から集まりました。隔年開催で続けてきた同窓会の集いも9回目を数え、今回は何と過去最高の参加者数となりました。



恒例の現役高校生吹奏楽部による演奏で、会は華やかに幕を開け、またたく間にホテルの広い会場が井草のキャンパスさながらに姿を変えました。肩をたたき合い、握手を交わし合って再会を喜び合い、歓声をあげ乾杯を繰り返しながらの語らいの輪が、あふれるような笑顔とともに会場に広がりました。

にぎやかな歓談が続く宴もたけなわの頃、女優・歌手として活躍中の記念学年22回生有希九美（二ノ宮美恵子）さんによるミニコンサートが始まり、同期生たちの声援を受けて、パワフルな歌声としっかりと語りかけるような表現力で会場の雰囲気盛り上げてくれました。



あっという間に3時間が過ぎ、最後に7回生の浜田明美さんの指揮、15回生の熊谷和子さんのピアノ伴奏により、全員で肩を寄せ合ってなつかしい校歌を大合唱し、大盛況のうちに名残を惜しみながら散会となりました。

井草会では、次回の「2015同窓会」へ向けて、今年度も同窓会委員会で準備を進めていきます。来年も笑顔あふれる集いの場で、「井草の絆」を確かめ合いましょう！同窓生の皆さまの多数のご参加を、心よりお待ちしております。



井草会援助金制度のご案内

井草会では、同期会、クラス会、OB・OG会等の開催に対して援助金制度を設けていますので、どうぞご利用ください。援助金は、30名以上の同期会、15名以上（65歳以上は10名以上）のOB・OG会やクラス会に対して給付されます。援助額は、千円/人ですが、クラス会は3万円、その他の会は5万円を上限とし、年に1回限りの申請とさせていただきます。ただし、2年連続の申請はご遠慮ください。

ハガキかFAX、または井草会ホームページの援助金事前申請用紙に会合名・目的・参加予定人数・開催予定日・幹事名（卒年・組）を明記し、必ず開催日の1週間前までに申請してください。事前申請の受付終了後に、担当者よりその後の手続きの詳細をお知らせいたします。

この制度は、会員の年会費によって賄われています。年会費の納入に、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ・申し込み先】 井草会同窓会委員会 〒177-0044 東京都練馬区上石神井2-2-43 都立井草高校内
TEL/FAX 0120-066-193 井草会メールアドレス igusa@igusakai.org



2013年度 同期会・クラス会・OB/OG会報告



高女1回同期会

2013年4月18日
新宿 中村屋本店

2年に一度開いてきた「井草高女一回生の会」も第22回を迎え、久しぶりにお会いする皆様と楽しく会を催すことができました。

会のプログラムにより乾杯のあと会食・懇談と続きました。一人一言では、近況報告に耳を傾けました。

第22回までの経過報告では、配られたプリントを見ながら長い歴史を振り返りました。その後、次回第23回「一回生の会」の予定を幹事から伝えて、集合写真を撮り閉会となりました。引き続いて二次会に移り、尽きない語らいのうちに、楽しい会も解散となりました。
(高女1 佐藤治子)

同期会



高校22回同期会

2013年8月24日：池袋 田子坊

9クラスの幹事を捜すまで至難の業でしたが、同窓会後の同期会には多数の仲間が参加！各クラスの幹事の頑張りに拍手です。

クラスによってそれぞれのカラーを感じ、とても興味深い一日を過ごしました。また、1年生の時の同級生と旧交を深める人もたくさんいて、改めて他のクラスの人の名前と顔を確認し、次回も一人も欠けることなく逢えますように！と願ったりもしました。

高校生の時とは体型も顔つきも変わったかもしれませんが、今回確認しあったので（笑い）今度道ですれ違ってもわかりますし、10年後20年後、茶飲み友達になっていたら最高です！やはり幼馴染みはいいですね。北海道や兵庫から駆けつけてくれた友人もいて感動しました！！
(22B ニノ宮美恵子)



高校23回同期会

2013年8月24日：池袋 魚や

2013年8月24日に開催された井草会同窓会の終了後、12年ぶりの同期会を開催しました。前回同様、100名近い参加者があり、大変賑いました。宴会場にクラス毎のテーブルを設け、乾杯の後、現状の報告や、懐古談に花が咲きました。40年ぶりに出席された方もおり、格好の再会の機会になりました。後半は、テーブルを移動して交流する方も多く、この期の仲の良さが現れていました。最後に、23期のテーマソングになっている「遠い世界に」を皆で歌い、さらに中村幹事の一本締めで幕を閉じました。

(23C 菊池史彦)



高校29回同期会

2013年11月23日：池袋 グレースバリ

2007年以来、当時I組担任の山田稔先生にもお出で頂き、6年ぶりに同期会を開催しました。

残念ながら家庭の事情や仕事の都合などで、今回不参加となった人達が多数いましたが、卒業生の約1/4、108名が参加し盛大に行われました。スライドショーやビンゴゲームなどの催し、また、当日が山田先生の誕生日というサプライズに、皆でパースデーソングを歌い、記念品を贈呈しました。あっという間の2時間半で、皆さん名残惜しい感じでしたが、還暦の年に再会するという約束で散会となりました。(29I 樗木荘太)



高校31回同期会 2013年8月24日：池袋 ホテルメトロポリタン

卒業から30年、心躍らせながら再会した4年前、高校時代へとタイムスリップしたまま、夢のような時間を過ごしました。その感動の再会をきっかけに、2年毎に開かれる同窓会に合わせて、「同期会」を開く事にいたしました。今回は3回目。厳しい暑さにもかかわらず、70人以上の懐かしい友人に再会する事ができた上に、高部先生、小川先生にもご参加いただきました。お変わりないお元気なお姿を拝見できて、とても嬉しい限りです。アナウンサーとして活躍中の藤井君が、軽妙な口調で心地よく会を進行。和気あいあいとした和やかな雰囲気の中、懐かしい話題で会話が途切れる事なく、あっという間に時間が過ぎてしまいました。名残惜しい気持ちを胸に、最後は全員揃っての記念写真撮影の時です。笑い絶えないほど、楽しい一時でした。あらためて井草の仲間に出会えた事に、心から感謝しています。また、2年後を楽しみに♪♪ (31B 五十嵐恵理子)



高校34回同期会 2013年8月24日：池袋 ホテルメトロポリタン

1963年生まれと1964年の早生まれの代の私たち34回生は、今年度、めでたく50才の年度に到達しました。一昨年の同窓会、同期会からはや2年、50才になったらまた再会しようという声も多く、I組担任でいらした菊地先生をお迎えして50才到達記念同期会を開催致しました。前回の同窓会、同期会に参加できなかった方も多数参加され、30年ぶりに同期生との再会を楽しんでいました。参加者数は女性陣が男性陣の約2倍となり、井草34回生の女性のパワーを再確認する会となりました。二次会にも86名が参加、大いに盛り上がり、最後にまたの再会を約束してお開きとなりました。(34I 幡野 佐)



高校35回同期会 2013年8月24日
池袋 ホテルメトロポリタン

私たちの同期会は、同窓会に引き続き行われました。同窓会には96名が参加し、大興奮のまま同期会からの参加者を加えて179名、更に恩師4名も招待して、まさに大宴会となりました。卒業アルバムの写真を入れた名札、ドレスアップした司会者、懐かしい音楽を流してくれたDJ、当時の井草祭のパンフレットを集めたコーナー、大型スクリーンでのあの頃の写真や8ミリ映画、惜しくも欠席だった同期の「有名人」二人のビデオメッセージなどの演出に笑顔があふれました。またプロのカメラマンによる、たくさんのスナップ写真やクラス写真、上から全体写真など、卒業アルバムの集合写真の再現となりました。おいしいお料理とお酒、楽しいおしゃべり、メール交換、写真撮影などであっという間に2時間が過ぎてしまい、7割の人が3次会まで参加し、またの再会を約束し、お開きとなりました。(35F 幡野美紀子)



クラス会

OB・OG会



高校8回B組 2013年7月7日：銀座ライオン

猛暑の中、クラス会を開催しました。生ビールでの乾杯で始まり皆それぞれに近況報告や思い出話に花が咲き、高校時代に戻ったようでした。

お料理もビールもすすみ大変盛り上がりしました。また、飛び入りで参加して下さいました元同窓会長の遠矢様から、現在の井草高校の様子等をお話いただきなつかしく感激しました。最後はコーヒーでくつろいで来年の再会を約束しあって閉会となりました。予定時間を大分オーバーしてしまいましたが本当に楽しいひとときでした。(太田恵津子)

高校10回F組 2013年6月18日：浜田山めんぼう壺久

4年8ヶ月ぶりの燦々会が開かれました。有志10人が集まり、毛利先生の体調の良さそうな日で、先生のご自宅に近い会場を選びました。しかし、当日は先生の体調が優れずに、残念ながら欠席されました。先生から頂いていた近況報告のコピーを全員に渡し、先生に励ましのお手紙を差し上げるよう封筒を配りました。

各自の近況報告では、現役で活躍している人、趣味に没頭している人、奥さんや夫を亡くした人、連れ合いが病気療養中の人、本人が病気を抱えている人、孫達に囲まれて幸せな人など様々ですが、高校時代を懐かしみ楽しいひとときでした。(伊王野耕二)



高校11回A組

2013年9月25日：中野サンプラザ

久し振りの参加者に乾杯の音頭をお願いして、会食に入りました。テーブル近くの方との歓談から、次第に話の輪が広がり、にぎやかな笑い声も起こり楽しそうでした。たわいない会話の中から人生観や人柄が伝わってきました。

B組って男子と女子がこんなに仲良かったかしら。この先、何年出席できるか解らないので、毎年クラス会をしましょうよとの声も。何はともあれ和気藹々の楽しいひとときで、帰る時の皆さんのお顔が満足そうでしたので幹事は安堵。

二次会は16名、カラオケルームで続きのお喋りの花を咲かせました。(澤野圭子)



高校12回D組

2013年10月31日：新宿 魚盛

第二の人生で新しい仕事を得て元気に働いている人、趣味・興味が高じて忙しく過ごしている人などが日程調整して参加してくれました。趣味の話では、書の研究、歌唱、旅行、トランプゲーム、バードウォッチング等々、興味深く聞かせてもらいました。手料理好きな男性が栗の渋皮煮を皆にふるまってくれ、美味しくいただきました。話題がさらに盛り上がりしました。

欠席通知を見ると、病気やけがの治療中、配偶者の介護中、東日本大震災の復旧途上等、考えさせられる事もありました。また、次のクラス会まで元気で集まる事を約束して散会。(軽部行秀)



高校14回F組

2013年11月17日：West 53rd 日本閣

2010年3月開催以来3年ぶりのクラス会、当年古稀を迎えました。出席者25名で午後1時から3時半迄、和やかな笑いがたえない楽しいクラス会になりました。1人2～3分の近況報告をしました。遠方の長野松本、茨城つくばより出席した方もおり、しばらくぶりの再会に学生時代に限り、話がつきませんでした。担任の天野敏雄先生が3年前にお亡くなりになった事、クラスメイト男性1人女性3人が先立たれた事が残念でしたが、またの再会を誓い名残尽きない思いで、お開きとなりました。(小島慶子)



高校23回F組

2014年3月23日
屋形船あらかわ丸

屋形船の貸切で花見がてらのクラス会を開催しました。

隅田川を遡上してスカイツリーを間近に見

て、その巨大さに圧倒されました。

船中ではお刺身やてんぷらに舌鼓を打って楽しく和やかなクラス会となりました。料理や景色より、酒の肴として最大の御馳走は、しわが増えて貫録の出た久しぶりに会ったクラスメイトとのひとときでした。最後にお台場での夜景を楽しみ、来年の再会を約して3時間の屋形船クルーズが終了しました。(臼井裕二)



硬式テニス部

2013年11月30日
新宿 スパッカナポリ

11年振りのOB・OG会を開催。遠くから足を運んでくださった先輩や同期の方々が集う中、近況や思

い出話に皆が興じ、美味しいピザもパスタも食べられないぐらいの忙しさでした。高校時代の若かりし日に戻った私たちの、再会の楽しい時が過ぎるのもあっという間で、お仕事や子供の話を織り混ぜながら、あの厳しくも楽しかった部活の日々に思いを馳せました。まだまだ話は尽きず、別れを惜しみながら次の会を約束しました。(武田弘美)

キャンパスニュース

井草生に期待すること ——— 井草高等学校副校長 加藤 泰弘



本年4月1日に東副校長の後任として、井草高等学校副校長に着任した加藤泰弘と申します。管理職として初めて勤務する学校が伝統ある井草高校となったことを大変喜ばしく感じております。井草会の皆様には、着任早々にお祝いのお言葉を頂きました。また、入学式に新入生全員に校章バッジを頂きましたこと、改めてお礼申し上げます。

私は去る3月まで6年間、東京都教育委員会事務局に勤務しておりました。久しぶりの学校生活に期待していたところですが、井草高校の生徒たちには期待以上の元気ももらっています。にこやかに挨拶をしてくれる生徒、勉強や部活等に一所懸命取り組む姿、礼儀をわきまえた態度と言葉遣い。そのような様子に触れるたびに、「ああ、やっぱり学校はいいなあ。」としみじみ思い、この子たちのために努力しなければと自分を奮い立たせています。

井草高校の生徒たちには、何事にも高い目標を

持って欲しいと考えています。もちろんそれは将来の進路だけではなく、日々の学習、学校行事、部活動なども含みます。血のにじむような努力をしなくても、平均的な社会生活がおそらくは営めるだろうという日本社会であるためか、高い目標を掲げる子供たちが少なくなっているという話も聞きます。しかしそれは自分の無限の可能性を試すことなく捨てているに等しいのではないのでしょうか。高い目標実現のために自ら最大限の努力をする、結果はどうであれ、その過程がその子自身を成長させます。生徒の努力の過程を私どもが支えて、目標の実現につなげていきたいのです。そうすることで井草高校の伝統がさらに輝かしいものになると信じています。

井草会の皆様には、機会あるごとに後輩たちの成長振りを見て頂くとともに、末永く井草高校の発展にお力をお貸し頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

次世代リーダー留学記

山野 梨沙 (3年)



私は、2013年1月から12月までの約1年間、次世代リーダー育成道場1期生としてオーストラリアへ留学

しました。この1年間は私にとって、大切な友達を得たり、「自分」を見つけたりした、今までにないくらい大切なものになりました。

私がこの留学で得た一番のことは、私自身の成長と友達です。そして、留学中は一人では何もできないということを痛感しました。辛いときに話を聞いてくれた日本の家族、日本の友達、私を家族も同然で生活させてくれたホストファミリー、そして、学校で何よりの支えになってくれた友達。この人たちがいなかったら、この1年間をこんなにも充実させることはできなかったと思います。

最初は英語が聞けないし、しゃべることのできない私に対してみんな遠慮していましたし、私が消極的になっていて、みんながしゃべりかけづらかったのかなと思います。ところが、こっちからしゃべると嬉しそうな顔をしてくれてどんどんしゃべってくれました。今思うと、私はあの時、考えられないくらい積極的だったと思います。また、留学中は、よく「自分」と戦いました。ここまで自分の改善点を見

つけられたことはないというくらい。辛かったです。今思うとあんなに自分と向き合えるいい時間はなかったかなと思います。本当に、留学では不思議なくらい「自分」が見えるんです！

オーストラリアでできた友達とは今でももちろん繋がっています。最初はぎこちなかった私と彼女たちの間も、別れ際には言葉の違いなんて関係なしに仲良くなれていました。私が彼女たちの思い出の中に入ることができたのが、何とも言えないくらいうれしいです。この1年間は私の宝物です。

先生の異動

転 出		転 入	
担当教科	氏 名	担当教科	氏 名
副 校 長	東 信幸	副 校 長	加藤 泰弘
国 語	中溝比呂志	国 語	佐藤 善夫
国 語	荻野 恵	国 語	青地 由美
日 本 史	荒井 剛	日 本 史	高嶋 薫
数 学	芦田 浩敏	数 学	内田 隆博
数 学	山口 貴史	数 学	梅川由美子
物 理	塩野 浩伸	物 理	霜山 一夫
英 語	杉野 文栄	英 語	丸山美穂子
英 語	永井 敏之	日 本 史	野村 勝也
経営企画室	石井 理万	地 学	保土田 力
		経営企画室	香月奈津子

井草高校進路指導改造計画「igusa 夢 project」

「恋愛の井草」から「進学」へ

井草高校 進路指導部 武藤 亮

都立高全盛時代には、井草からも東大進学者がいたと聞いています。その後学校群制度（1967～81）が導入され、大泉、石神井、井草が34群に指定されました。「勉強の大泉」「スポーツの石神井」「恋愛の…」と、いつからか人はそう呼ぶようになったそうです。「井草温泉」などという言葉もあったようです。

学校群制度は都立高の格差是正という大号令のもと、学校群を構成する2～3校へ成績順、機械的に合格者を割り振るシステムです。ある意味では大変平等な、しかし受験生にとっては選択の自由を奪う制度でした。行きたい学校に行けない、そんな中で当然のことながら都立高校はかつての勢いを失い、国立・私立全盛時代へと移行したのです。

時は平成、2000年代になると都立高校は「都立復権」を合言葉に単独選抜実施、学区制廃止、進学指導重点校指定など数々の改革を行いました。現在日比谷や西が東大合格者を増やしているのもその流れです。進学実績を上げることが受験生を増やすこと、他の都立高校に負けないこと……。いつしか井草高校も競争の荒波に放り込まれました。生徒募集に力を入れ、いかにして他校と差別化を図るか、井草でも中学校訪問や塾対象の説明会が実施されました。

私が井草高校に赴任した9年前、当時の生徒も大学受験を目標に日々勉強に励んでいました。しかし大学へ行くことが当たり前で、なぜ大学に進学するかという明確な目的意識を持った生徒は少なかったように思います。大学はゴールではなくスタートであり、その先の就職を見据えた学問選び、学校選びが大切であることを伝えたい。受験勉強は合格の瞬間に消える、今まで生きてきた何倍もの人生を揺るぎないものにするために、合格から先に生きる真の学びをこの井草で見つけて欲しい。そんな思いが「井草高校進路指導改造計画」へと実を結びます。



2007（平成19）年に「igusa夢project」がスタートしました。井草生の希望進路実現をより確かなものとするため、キャリア教育を中心とした進路指導の始まりです。今でこそあちこちで「キャリア教育」の重要性が叫ばれていますが、すでに井草高校では充実したキャリア教育を8年前から行っていたのです。

ゴールのないマラソンほどつらいものはありません。井草高校では生徒が早い時期から目標を定め、その目標に向かって努力できるような環境作りをし

ています。高校入学から段階的に大学、職業、社会へと意識を高め卒業して行く仕掛けを作りました。1年生は社会人による職業講座、2年生は大学教授による出張講義、3年生はそれぞれの進路に応じたガイダンス、また全学年対象に受験のノウハウを解説する講座など、あらゆる手段を使って「進学」ではなく「進路」を考えさせています。

今年で8年目を迎えた「igusa 夢 project」。しっかりと目標を持った井草生ほど強いものではありません。勉強だ！受験だ！と生徒を駆り立てることもなく、生徒は希望の進路を実現して卒業して行きます。今年の進学実績も「igusa 夢 project」始まって以来の好結果です。自主・自由・自律を旗印に、「igusa 夢 project」はさらに進化して行きます。卒業して10年、28歳の自分をイメージできる進路指導、これからも井草高校の進路指導に期待してください。

進路指導の詳細はHPをご覧ください。

2014年進路状況・合格状況

（既卒者、推薦入学を含む合格者数）

国公立大学（16名）

埼玉3 首都大学東京3 国立看護大学校2 電気通信1 東京医科歯科1 東京外国語1 東京学芸1 鳥取1 群馬県立県民健康科学1 高崎経済1 都留文科1

私立大学（588名）

東洋53 日本41 法政34 立教24 成蹊18 東京経済18 明治17 駒澤16 武蔵16 成城15 大東文化14 武蔵野13 専修12 青山学院11 國學院11 拓殖11 玉川11 工学院10 中央10 帝京9 東京理科9 国士館8 芝浦工業8 明治学院8 目白8 昭和女子7 東京電機7 早稲田7 亜細亜6 大妻女子6 学習院6 城西6 文京学院6 東海5 東京工芸5 武蔵野美術5 跡見学園女子4 学習院女子4 神田外語4 白梅学園4 創価4 多摩美術4 東京家政4 東京工科4 東京農業4 明星4 杏林3 実践女子3 上智3 東京女子3 東京都市3 獨協3 日本体育3 立正3 神奈川2 北里2 十文字学園女子2 順天堂2 女子栄養2 白百合女子2 清泉女子2 西武文理2 東京造形2 東京薬科2 日本女子2 日本女子体育2 日本薬科2 文教2 酪農学園2 流通経済2 桜美林1 神奈川工科1 共立女子1 慶応義塾1 淑徳1 女子美術1 駿河台1 大正1 津田塾1 帝京平成1 東京医療保健1 東京家政学院1 東京慈恵会医科1 東京成徳1 東京福祉1 東京富士1 東京未来1 東洋英和女学院1 日本医療科学1 フェリス女学院1 文化学園1

短期大学6名 専門学校23名

7年間の合格者推移（現浪合計）



早慶上理…早稲田、慶応義塾、上智、東京理科
MARCH…明治、青山学院、立教、中央、法政
成成学武…成蹊、成城、学習院、武蔵
日東駒専…日本、東洋、駒澤、専修

クラブ活動めぐり

バスケットボール部

男子は3年生12人、2年生11人、マネージャーの計27人で活動しています。顧問の熱心な指導のもと活気のある充実した練習に励んでいます。昨年度は夏だけで16回の練習試合を行い、実践から学びチームの糧にしています。体育館練習では、プレーヤー同士の声飛び交い井草高校ならではの自発的な行動が活きた部活動となっています。

女子は3年生8人、2年生3人、マネージャー3人の計14人で活動しています。外部コーチを招き、生徒だけでは気づけない細かい部分まで指導していただいています。その指導を活かし、内容の濃い練習を行っています。昨年度は夏季大会でブロック準優勝という結果を残すことができました。人数は少ないながらも「走れる速攻型」を目標に、日々頑張っています。



活動日・活動場所は月・木・土日のどちらかが体育館練習。火・金が学校周辺で行うランニング、トレーニングルームで行う筋肉トレーニングです。

昨年度はOB・OG会を開催し、卒業生と在校生と一緒にバスケットを行う機会もありました。縦のつながりから得られるものも多く、在校生の力になっています。

顧問・コーチの指導のもと、励まし合いながら技術・意識向上に努めています。日々の努力が結果に結びつくよう努力し続けていきます。



社会福祉研究部

2013（平成25）年度の社会福祉研究部の部員数は、女子6名（5名が3年生、1名が2年生）、小さなクラブです。2階家庭科室の近くに部室があります。床は、スポンジのタイルのようなものが敷き詰められ、小さな子供たちが遊べる遊具などが置かれていて、なごめるスペースです。

現役の井草生、社会福祉研究部長の部活紹介は、次のとおりです。

「『明るく楽しく、みんなでわいわい』をモットーに活動をしている社会福祉研究部です。部員数は、本年度（2014）2名です。部内では学年の壁など皆無で、先輩・後輩はとても仲が良く、文化部ならではの雰囲気があります。なぜなら部員は2名とも現在3年生だからです！従って今一番の課題はいかに部員を集めるかということになります。確かに社会福祉研究部というと、浮かぶイメージは堅苦しい、マイナー、楽しくなさそう、等だと思います。しかし、堅苦しいのは「名前」だけで、実際には部室の床は、井草高校で一番カラフルで、可愛らしいですし、活動内容は、幼稚園訪問など、堅いの『か』の字もありません。

『社会福祉』という意味を調べると『貧困者などの生活を保障し、心身に障がいのある人々の援助などを〜』とありますが、そんなものを知

らないと入部できないというものではありません。堅く重く考えないで、自分のやりたい活動をする、それが結果として『ボランティア』と呼ばれるものになるはずですよ。『ボランティア部』でもいいと、私は思っています。『社会福祉』は行政がやるのであり、また私たちがやっているのは、自発的なので、『奉仕』でもないと考えます。このように、社会福祉研究部は、自分の好きなものを好きなだけやるといった、まさに『自由の井草』の部活です。まずは、『廃部阻止！』に努めます。頑張ります」

（西田恵美・山本沙羅3年G組）

例年、石神井南幼稚園で、「ボランティア活動（お手伝い）」を行っています。「自分を必要とする他者を発見できた時、人間は生き生きできる」、ということを実感できた部員は、本当によい経験をしてくるように感じます。今年から、石神井南幼稚園で、井草の卒業生が働いているとも、聞きます。同窓会のみなさんにあっても、社会福祉研究部の活動に対して、ご助言、ご協力お願いいたします。顧問 山崎裕康 武藤亮

OB・OG インタビュー

小栗 篤さん (22回D)

同志社大学法学部 法律学科卒業
機械メーカーを経て本田技研工業株式会社入社
ホンダU K 駐在 (英国)

人材開発センター所長
管理本部秘書室長
学校法人ホンダ学園常務理事兼校長 2012年退任



Q. どのような井草生でしたか？

私はかつての学校群制度第一期生として入学しました。井草は第一志望でなかったため釈然としないまま高校生活スタートとなりましたが、新入試制度は実に優秀かつ個性的な学友たちを集めてくれ、結果的には大変刺激的な高校生活となりました。

青年期を過ごすこの時代は、人との本格的な関わりが始まる貴重な時間です。中学時代はほぼ自分の世界で精一杯でしたが、高校時代の様々な友人との交流や経験が新しい自分自身を発見するきっかけとなりました。今思えば、赤面するような行動もしましたが、いまでも高校時代の友人とは頻繁に交流しています。

Q. どのような夢をおもちでしたか？

思い返すと、当時の夢は雑多かつ漠然としたものでした。単純に「人」と密接にかかわり役立てる将来を夢想していましたので、最初に志向したのは医師の道でした。しかし一方では文学の世界に身を浸したり、自己表現の手段を模索していた時期でもありました。当時隆盛を極めた学生運動や社会運動の影響も少なからずあったと思います。

その後医師への道は諦め、同志社大学法学部に進学しました。憧れていた京都での学生生活は貧しいながらも素晴らしい環境と友人、教授にも恵まれ忘れることができません。

Q. ホンダに入社された経緯をおはなしてください。

大学を卒業し、大手機械メーカーに就職しました。その企業では充実感に満ちた仕事と人との出会いの場を提供してもらいました。ただ、気持ちの中でどうしてもしたいと思ったのが、海外を相手にした仕事でした。グローバルに拡大するビジネスに身を置き仕事のフィールドを世界に求めたかったのです。

その時偶然ホンダが全国で中途採用者を募集しているのを知り、運よく採用されました。私が入社した1980年代、日本の自動車産業は世界にむけて羽ばたきだしておりホンダはその先頭を切っている企業でした。当時のホンダは若く勢いがあり、自由闊達な社風と創業者の考え方にも大いに共感ができ、在任中は本当にチャレンジングで面白い仕事をさせてもらったと思います。

Q. 海外勤務もなされたそうですが何か楽しいエピソードをご紹介ください。

ロンドン勤務していた時ビートルズの故ジョージ・ハリスン氏にアコード車を世話したことかな。も

の静かで謙虚な人でした。握手した手は暖かでしたね。

あとは自然と人間の関係がより近いということですね。あちこちが緑に溢れ、庭にリスや小動物が現れたりして。また当時日本がバブル期で、買い物に取りつかれていた人が目立ったのに、イギリス人は物欲よりも別のもので楽しく豊かに暮らしている感じが印象的でした。駐在中に深く考えたのは、人間の幸福ってなんだろう？でした。

Q. 人事担当になられ、人を採用する場合にどのような視点をお持ちでしたか？

採用は企業にとって非常に重要な仕事です。特に、高校や大学からの採用は面接時の姿だけでなく、十年後、十五年後も見据えた人材確保を意識します。つまり、大きなのびしろを持つ多彩な人材を確保することが基本です。

仕事は人を育てます。ただ、仕事と業務は異なります。業務はマニュアルがあればこなせますが、仕事は個々が価値を生み出していくものです。価値を生み出すプロセスの中で人は成長していくのです。この成長の可能性を見極めることが採用のキーポイントだと思います。

Q. 後輩たちへのメッセージをお願いします。

企業人として最後のステージで、会社が運営する技術者養成の専門学校の経営責任者兼校長を務めました。自分が若者に何か言える立派なものを持ち合わせていないのに、講話や訓話的な話をする羽目になってしまい、大いに戸惑いました。

しかし立場上しないわけにもいかず、自分自身に言い聞かせるような形で学生に次のような内容を語りました。

＜好き嫌い、関心無関心＞ 個々には自分の好きなもの、関心のあるものがある。同時に好きでないもの、関心の無いものもある。しかし、好きでもなく関心の無いものが自分に影響を与えないと思わないでほしい。
＜風呂屋の富士山＞ 風呂屋に描かれた富士山は、いつみても晴天の中の絶景で美しい。だが、現実の富士山は生きている。時々刻々と変化している。現実としての環境や人間を、生きたものとして捉えてほしい。

また会社や学校で若い世代を育成する立場にある人たちには、以下のことをお互いに心しておきたいと伝えました。

「あなたの部下(学生)は優秀な上司(教師)のもとで働く(学ぶ)権利がある」

以上をメッセージの代わりとさせていただきます。



ホームページを井草会の コミュニケーションの場として発展を!

インターネット委員会の
月岡委員長(17G)に聞く

月岡委員長は17回の卒業生。在学中は野球部とのことでしたが、今でも現役で野球をされていらっしゃるそうです。最近でもピッチャーとして7回完封したとのこと。そんなパワフルな月岡委員長に井草会のホームページ(HP)の運営・管理の取り組みをお聞きました。

井草会のHPのアクセス数はどうですか？

アクセス数を何で捉えるか難しいのですが、アクセス計で見れば、同窓会の開催の前後は1日数十件以上になります。通常はこれより少なく、当面の目標は1日のアクセス数が100越えです。

HPのコンテンツ(内容)はどのくらいの頻度で更新しているのですか？

現在は2週間に1度くらいです。更新の間が長いと、見てもらえなくなってしまうと思っています。理想としては1週間に1度くらいを目指していきたいです。井草会の会報は年1回発行されますが、HPではもっとリアルタイムに井草会の活動を伝えます。



見やすいHPになっていますね。

井草会のHPが今ようになったのは、2007年からです。それまでは個人のHPの延長のような形でした。今の時代にそれでは良くないと考えて、「igusakai.org」という井草会独自のドメイン(インターネット上「住所」)を取得、基本設計を作成し、デザインはプロに任せて、今の形になりました。

プロが編集・管理をやっているのですか？

いやいや、それではかなりコストがかかります。デザインはプロにやってもらいましたが、その後の編集・管理作業などは委員会でやっています。

技術的に難しい面があるのではないですか？

実は私は現役時代、電機メーカーの技術者でした。でも、パソコンのHPは全く専門ではなかったのですが、いろいろ勉強しながら対応しています。HPを見るブラウザ(閲覧ソフト)によって、HPがうまく見えないこともあるので、複数のブラウザでチェックするなど細かい作業をおこなっています。

インターネット委員会はどのように運営されているのですか？

年に3回くらい開催しています。そこではコンテ

ンツ(内容)など、新しいものをどうしていくのかなどを話し合っています。これからの特に取り組みなければいけないことは「インタラクティブ(双方向型)」だと考えています。

「インタラクティブ」どのようなことですか？

今は、井草会から会員に向けた情報提供が多くを占めています。一方、会員からは住所変更やクラス会・同期会の援助金の申請などHPで行えます。しかし、これだけでは双方向性は不十分と考えています。これからは、会員から多くの情報を提供して頂き、それをHPに載せていきたい。例えば、会員から季節の写真など送って貰えれば掲載しようと考えています。また、HPには掲示板などもあり、そこでの意見を踏まえ、会員のニーズに合わせたものを作っていきたいと思っています。

また、以前、掲示板に会員の方から「からまつ山荘はどうなりましたか」という書き込みがありました。「からまつ山荘」とは1966年に建てられた長野・湯の丸高原にあった井草高校の山荘です。今はもうありませんが以前はクラス単位で宿泊したそうです。たとえば、そうした掲示板の意見を受け、「今、からまつ山荘はどうなっているのか」、などをルポルタージュにしてHPに掲載したら面白いのではないかと考えています。

他にどんなアイデアがありますか？

アーカイブ(書庫)を充実させていきたいですね。現在、「井草の歴史」の頁があり、年表だけでなく、「思い出」には、かつての石神井高校との合同混声合唱団の記事があります。今後は、高女時代の学徒勤労奉仕などの記事や、井草高校周辺の新旧写真なども掲載を検討中です。また、井草会報のバックナンバーの保存も考えています。

アイデアがたくさんあるんですね。

これからはHPが井草会のコミュニティーの場の中心になっていったらいいなあ、そんな風に考えています。

私ももっとHPを見ます。

見るだけでなく、意見もくださいね(笑)。

※井草会HP：<http://www.igusakai.org/>



恩師からの便り



井草高校の思い出

茅根 正之 先生

(昭和40～54年 体育担当)

私は昭和40年4月から14年間井草高校体育科の教員として勤務していました。

その後、五日市高校10年間、秋留台高校14年間で合計38年間勤務し、60歳の定年を迎えました。更に、嘱託員として青梅農林高校3年間、青梅総合高校2年間で合計43年間教育の仕事にかかわってきました。

私は昭和40年3月に大学を卒業したばかりで、教育や教員の仕事の難しさ、奥深さなど知らなかったのです。

そんな新米の私を先輩の先生方、保護者の方、そして卒業生の皆さんからたくさんのことを学び、そのことによって教員を続けることが出来たのです。井草での14年を思い返し心より感謝しています。

井草高校での思い出としては、西伊豆の戸田での臨海学校が一番印象に残っています。海がとてもきれいで、夜、港の栈橋で見た夜光虫の輝きが素晴らしいかったですね。

何よりも感動したのは、3日目の午後に実施する大遠泳でした。1日目は初級班にいてまったく泳げなかった生徒が上級班のサポートを受けながら、1時間半の大遠泳を完泳するのです。すごいことです。遠泳を泳ぎ切った生徒が、涙を浮かべて、今、必死に泳いできた海を眺めている姿を見たときに、教員の仕事を選んで良かったなと思いました。

遠泳の翌日「親が信じてくれないので完泳した証明書を書いてください」と何度か頼まれたこともありました。

話が変わりますが、我が家の狭いギャラリーに古びた絵が飾ってあります。幼い男の子と女の子が肩を組んで木の橋に座り、釣り竿を出しているかわいい刺繍の絵です。絵の裏側に



先生へ

お幸せに

昭和42年7月吉日

2年3・4組女子一同

私たち夫婦は昭和42年7月19日に結婚し、そのお祝いに頂いたものです。特に妻が気に入っていて、今でも大事にかざっています。



「イグサの魔法使い」たち

橋 治子 先生

(昭和59年～平成5年 世界史担当)

井草高校は私が教師の第一歩を踏み出し初めて担任をした学校です。ちょうど教員の異動が「強制」になった時期で、井草高校には色々な経験を積んだ新任の先生方がたくさん集っていました。新しい試みがいくつもあって、その中に「文化祭で演劇を」という声もありました。当時、富士高校で有名だった3年有志のミュージカル「アニー」に刺激を受けた3年有志から文化祭ステージで演劇をやりたいという声が上がりました。

演目は「オズの魔法使い」。当時の井草高校には生徒の演劇を全員で見るという土壌がありませんでした。声を上げた3年生たちにやる気はある。演劇の才能も経験も能力もある。この試みを成功させるために欠かせないことは観客の盛り上がりだけでした。

幕が開いたステージ中央には「夫婦」になった校長先生と養護の先生が立っていました。客席が沸きました。そして、魔法の国についたドロシーたちの後ろにリンゴの木。それは当時生徒みんなに恐れられていた体育の先生だったのです。爆笑と大歓声の渦で、一気に体育館の中が「オズ」の世界に。あとは芸達者な役者たちの独壇場でした。脚本・出演・宣伝大看板・照明・音楽・衣装・大道具小道具など、夏の受験勉強をすべて振り捨てて素敵なオズの世界を作った3年生たち。舞台に立ってくださった先生方。快くサポートしてくださった先生方。ステージに関わった生徒も先生も全員が「イグサの魔法使い」でした。カーテンコールに立った私たちに会場の2年生から「来年もやりたい!」という声がおきました。高校生活は一人一人が人生の宝物を作ることができる時間。そして、宝物作りの魔法はバトンのようにつながって行く。そのことが心に刻み込まれた瞬間でした。

今年私は教員生活の最後になるであろう担任を持っています。井草高校が自分の教員生活の最初の間だったことに心から感謝の気持ちが沸きます。ありがとうございました。



素晴らしい井草の伝統 『自主・自由・自立』

杉野 文栄 先生

(平成12年～26年 英語担当)

私は、2000年4月から2014年3月まで14年間にわたり、井草高校に勤務いたしました。14年間という、生まれたばかりの赤ちゃんが高校選びを考えるほどの長い時間になりますが、過ぎてしまうと本当にあっという間でした。

その間、担任を3回持たせていただきました。どの学年でも、とても良い生徒や先生方に恵まれて、本当に楽しい毎日を送ることができました。担当した学年では、生徒たちが大変に努力して、大学入試でも目標としていた合格者を出すことができました。体育祭や井草祭では華々しい活躍をして、私の担任をしたクラスは多くの賞状もいただきました。また、部活動では、13年間、男子バレーボール部の顧問をさせていただきました。私自身はバレーボールの経験がなく、教員生活の中で顧問をしたこともありませんでした。着任して2年目のこと、引率の先生が見つからなくて困っているという話をキャプテンから聞き、1回だけのつもりで引率したのが始まりでした。

男子バレーボール部の顧問をしていて、強く感じたことは、同窓生の皆さんの母校に対する深い愛情です。男子バレーボールの場合は、都立高校では一般的に指導のできる顧問が少なく、選手の数がどんどん減ってしまい、チーム数も大きく減りました。ところが、井草高校では、伝統的に卒業生がコーチとして技術指導を一手に引き受けてくれていて、合宿には10人以上のOBの皆さんが来てくださいます。そうした力をいただいて、私のように何も分からない教員でも13年間、顧問を務めることができました。この間、引率した大会はちょうど100回を数えます。毎年6月に行われるインターハイ予選会の引退試合の時にはマネージャーが名前を刺繍した鉢巻を作ってくれ、私の大切な宝物です。

私は本当に井草高校が好きで、できることなら教員生活の最後の日まで井草高校で勤めることができたと夢見ていましたが、わずかな年月を残して2014年4月に異動いたしました。井草高校を離れてみて、教員生活の4割近くを井草高校で過ごせたことを改めて幸せなことだったと感じています。「自主・自由・自律」は井草高校の素晴らしい伝統であり、井草高校で学んだり働いたりしたすべての者にとっての誇りであると思います。多くの都立高校がいろいろな流れの中で学校名が変わったり、中高一貫校や単位制高校に姿を変えたりしている中、井草高校はあくまで今のままの井草高校であってほしいと思います。

同窓会の皆様にとっては、井草高校で高校生とし

て過ごした3年間がかけがえのないものとして心に残り、その後の人生でも大きな支えとなっていることと思います。私にとっても全く同じことです。3月25日の離任式で申し上げたことですが、14年間にわたり私を支え、育て、愛してくださったという点で井草高校は私の母校そのものでした。同窓会の皆様には長い間にわたり、ご指導、ご支援を賜り、本当にありがとうございました。井草高校がいつまでも生徒、教職員、同窓生の皆様、そして地域の方々からこよなく愛される存在でありつづけるよう、また、同窓生の皆様が井草高校での思い出を財産に、ますますご活躍なさいますよう心よりお祈りいたします。

井草会掲示板

■井草祭へのお誘い（事業委員会）

開催日時：9月13日（土）・14日（日）
10:00～15:00

井草会では、今年も井草祭へ参加し、同窓生の皆さまの憩いの場となるように歓談の席を用意してお越しをお待ちしています。なつかしい井草のキャンパスへ、ぜひ足を運んでください!!

■平成25年度 一般寄付金寄付者名簿

		(敬称略 単位千円)	
高女1回生	末谷 永井 京子 10□	15回生	田中 希史 3□
	谷 井 典子 8□		星 秀一 3□
	大 谷 夕子 3□		渡 今子 1□
3回生	佐 藤 幸子 3□		本 多 昭子 5□
4回生	白 美 子 3□		川 添 次子 3□
	富 昭子 3□		本 井 洋子 3□
5回生	高 草 哲子 8□		三 唐 康保 3□
高女4回	高校1回有志 13.5□		熊 谷 子之 3□
高女2回生	渡 辺 旭子 3□		小 泉 彰子 3□
3回生	金 美 保子 9□		三 野 子 3□
4回生	中 大 京子 3□	18回生	千 葉 子 3□
5回生	大 重 久子 3□	19回生	三 島 佳子 3□
7回生	山 廣 樹子 8□		川 勝 雄 3□
	中 津 和子 3□		村 勝 勉 3□
	浜 田 美子 8□	20回生	野 崎 曉 3□
8回生	渡 瀬 山 弘子 5□		山 田 樹 18□
9回生	山 辺 直子 3□		本 村 明子 8□
	渡 村 正義 8□		田 駒 英 3□
10回生	黒 田 正忠 8□	21回生	原 倉 二 6□
11回生	町 田 宏子 3□	22回生	原 田 真 1□
12回生	尾 崎 雄子 3□	23回生	山 下 昭 1□
	内 野 千 子 3□	26回生	牧 山 哉 28□
	中 藤 孝 3□		所 部 彦 4□
	細 林 保 3□	27回生	阿 部 宏 1□
	八 谷 春 1□		伊 藤 秀 3□
13回生	工 登 子 10□	30回生	伊 藤 実 30□
	清 岡 健 1□		山 崎 信 3□
	岡 和 隆 8□	31回生	大 滝 肇 3□
14回生	岡 部 行 3□		阿 部 利 1□
	本 千 枝 1□	32回生	藤 川 水 1□
	本 名 子 30□	33回生	藤 清 道 1□
	松 本 清 3□	34回生	島 田 山 3□
	小 島 一 3□		高 野 人 1□
	林 島 子 3□	35回生	竹 内 愛 3□
	小 波 子 1□	39回生	川 寄 孝 10□
	岩 斎 子 3□	41回生	吉 米 孝 3□
	原 秀 京 1□		米 川 和 3□
15回生	本 幸 子 3□	49回生	浦 城 彦 2□
		51回生	葛 貴 3□
		54回生	永 弘 5□

平成26年3月31日現在

合計 98名 517,500円

■ 幹事総会報告

6月15日(日)母校視聴覚室において幹事31名の出席(委任状340通)で総会成立要件の定足数50名以上を満たし、定時幹事総会が開催されました。

冒頭月岡会長の挨拶では、学校・PTA・同窓会の連携を強化した活動をしていきたいとの抱負が述べられました。来賓の宮本校長および加藤副校長からは、国際交流の進展や進学実績の向上など、現在の井草高校の現状についての話がありました。議事では、平成25年度の事業及び決算報告が行われ、次いで平成26年度の事業計画案および予算が審議され、いずれも原案通り承認されました。

また、平成26・27年度の新役員については審議の結果、以下記載の新役員が承認されました。

新役員紹介(平成26.27年度役員)

◎委員長 ○庶務

会 長 月岡健一17G

副会長 瀬尾行弘8B 植木 謙21D 樗木 莊太29I

顧問 隆野 豊子1 遠矢 良隆6A 新井雅晴13D

事務局 ◎中井淑子7C ○採田邦子29F 本田 英俊16B
祝 裕太郎16G 鎌形香代子27F 藤尾智子25I(兼)
大西久江5E(兼) 安田忠21D(兼) 原 京14G(兼)
中村啓子18E(兼) 伊集院直子30B(兼) 幡野 佐34I(兼)
持田尚子34D(兼) 渡 辺 旭2B 佐藤治子高女1
金沢美保子3B 須子美津代3A 山口 和子3A
平岩允理子6C 新井雅晴13D(兼)

会 計 ◎村上俊雄25E 藤 尾 智 子25I

監 事 久米浩一26D 大西久江5E

広 報 ◎瀬尾行弘8B ○原 京14G 中村福代14G
作田 豊彦15F 隆野豊子1(兼) 八巻孝夫18A
本山和夫20B 中井淑子7C(兼) 新井信晶30G(兼)

インターネット ◎月岡健一17G(兼) ○岩崎静枝30H 志賀直彦31A
井上晴夫24D 高橋理子30C 中井淑子7C(兼)

会 報 ◎植木謙21D(兼) ○中村啓子18E 中村 公3E
西田 実17B 永島寿江18J 鹿子嶋早苗22A
新妻成一35F 中井淑子7C(兼) 瀬尾行弘8B(兼)
新井雅晴13D(兼) 原 京14G(兼)

事 業 ◎新井信晶30G ○伊集院直子30B 安田 忠21D
谷 明7D 渡 辺 正義9C 林 一雄10C
丸山 隆13D 岡部隆行13E 島田俊明20A
堀井祐樹62F 熊谷和子15F 井手房子27G
松沼亮人65A 越智菜月65A 栗原秀介65B
中江麻梨香65B 奈須川佑樹65C 松宮真凛65C
尾林正寛65D 柴田阿寿美65D 金井大介65E
小林彩愛65E 方波見龍志65F 久保奈津美65F
森田修司65G 内山美里65G 米田朋功66A
山口百合子66A 藤原大河66B 佐藤美弥66B
坂本 陸66C 千葉智園66C 長野亮太66D
安達美緒66D 田村有基66E 三井さくら66E
原田勇希66F 木原美月66F 藤井一真66G
柴田咲弥66G

同 窓 会 ◎田村光孝31E ○持田尚子34D 大久保みつ江18F
田 中 信 雄29B 採田邦子29F(兼) 五十嵐恵理子31B
杉山 薫31F 野 秋 毅31I 加藤康正33C
幡野 佐34I 豊嶋 敬一31G 中村啓子18E(兼)
安田忠21D(兼) 三輪 則子20E 樗木莊太29I(兼)

平成25年度決算・26年度予算

収 入

(単位: 円)

項 目	H25年度予算	H25年度決算	H26年度予算
繰 越 金	2,661,488	2,661,488	1,586,396
入 会 金	1,112,000	1,112,000	1,068,000
会 費 収 入	3,000,000	3,000,000	3,000,000
寄 付 金	650,000	571,500	500,000
同 窓 会 参 加 費	2,900,000	3,103,000	
雑 収 入	10,000	27,419	10,000
計	10,333,488	10,475,407	6,164,396

支 出

項 目	H25年度予算	H25年度決算	H26年度予算
会 報 委 員 会 費	2,450,000	2,239,142	2,400,000
会 報 通 信 費	1,150,000	1,147,781	1,200,000
会 報 発 送 代 行 費	525,000	309,169	350,000
会 報 等 印 刷 費	675,000	700,808	750,000
委 員 会 活 動 費	100,000	81,384	100,000
事 業 委 員 会 費	1,660,000	1,127,275	550,000
井 草 祭 参 加 費	180,000	39,245	120,000
委 員 会 活 動 費	80,000	4,480	100,000
ク ラ ブ 推 進	50,000	0	30,000
井草高校活動費助成金	1,140,000	842,000	300,000
70周年記念事業	210,000	241,550	0
同 窓 会	4,540,000	4,000,990	800,000
クラス会等援助金	600,000	422,000	600,000
委 員 会 活 動 費	100,000	2,500	200,000
同 窓 会 開 催 費 用	3,400,000	3,229,842	
同窓会費振込用紙印刷代	400,000	305,688	
同窓会費振込手数料	40,000	40,960	
広 報 委 員 会 費	360,000	218,026	300,000
インターネット委員会費	200,000	131,640	100,000
事 務 担 当 費	1,000,840	1,166,972	1,080,840
活 動 費	600,000	733,218	600,000
年会費振込用紙印刷代	250,000	273,554	300,000
年会費振込手数料	150,000	159,360	180,000
入会金振込手数料	840	840	840
会 計 担 当	20,000	4,966	20,000
井草会事務所開設準備金	0	0	0
予 備 費	102,648	0	913,556
次 年 度 繰 越	-	-	-
計	10,333,488	8,889,011	6,164,396

財産目録

(平成26年3月31日現在) 単位: 円

名簿積立金 700,000
井草会事務所開設準備金 15,500,000

恩師の訃報

小澤芳子先生 平成25年9月9日逝去
(S21年～31年在職)家庭
本庄 寛先生 平成25年9月18日逝去
(S23年～26年在職)英語
大隅芳秋先生 平成25年12月6日逝去
(S25年～43年在職)社会
毛利和夫先生 平成26年1月22日逝去
(S25年～38年在職)社会